

柳井地区広域消防本部及び柳井消防署新庁舎建設設計業務委託公募型プロポーザル  
審査結果報告書

1 選定委員会実施日

令和4年9月2日（金）午後1時30分から午後3時30分

2 参加者 2者

3 選定結果

受託候補者 久米・巽設計特定業務共同企業体

次点者 株式会社 村田相互設計

4 柳井地区広域消防本部及び柳井消防署新庁舎建設設計者選定委員会

役職	氏名	所属等
委員長	中川 明子	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 教授
副委員長	寺田 康洋	山口県土木建築部 建築指導課 企画監
委員	石川 浩	柳井市 副市長
委員	岡村 春雄	周防大島町 副町長
委員	橋本 政和	上関町 副町長
委員	高木 哲夫	平生町 副町長
委員	河原 憲治	柳井市 総務部長
委員	宮本 裕	柳井市 建設部長
委員	西岡 則之	柳井地区広域消防組合 消防長
委員	砂田 真二	柳井地区広域消防組合 次長
委員	川寄 希人	柳井地区広域消防組合 次長

## 5 評価内容

評価項目等  企業名	【客観的評価】		【主観的評価】					合計
	1. 提案者の実績	2. 見積価格	3. 業務の実施方針及び手法		4. テーマに対する技術提案			
			(1)業務の理解度及び取組意欲	(2)実施方針	(1)テーマ1 消防力を最大限発揮できる庁舎の設計方針と空間イメージ	(2)テーマ2 安心安全な庁舎の設計方針の提案	(3)テーマ3 工期短縮及びコスト削減を実現するための工法等に関する技術提案	
配点 30 点	配点 5 点	配点 10 点	配点 10 点	配点 15 点	配点 15 点	配点 15 点	100 点	
久米・巽設計 特定業務共同企業体	28.5000 点	0.1600 点	8.5000 点	8.6250 点	13.2500 点	12.8750 点	12.7500 点	84.6600 点
株式会社村田相互設計	24.0000 点	5.0000 点	5.8750 点	5.7500 点	10.2500 点	10.2500 点	9.6250 点	70.7500 点

## 6 審査講評

柳井地区広域消防本部及び柳井消防署新庁舎建設設計に対して技術提案をいただいた各者は、これまで培ってきた豊富な経験と技術力が十分に発揮され、それぞれに優れた提案がなされていました。

ここに、本件プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯にご努力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本委員会は、本件プロポーザル2次審査の結果、受託候補者として久米・巽設計特定業務共同企業体を特定しました。

この提案について、以下の項目ごとに講評を記します。

### (1) 「3.業務の実施方針及び手法 (1)業務の理解度及び取組意欲」について

受託候補者は、組織事務所と地元事務所のJVであり、それぞれの得意分野を生かしたチーム形成が期待できます。

応募前に一般国道188号の海拔、道路改良事業を積極的に調査した結果、事前に提示されていた基本計画とは異なるものの、より妥当性の高い車両動線の提案を行い、敷地や地域の特性を踏まえた提案がなされていました。同時に、消防署員へのヒアリングも念頭に置くなど、ステークホルダーに対する丁寧な仕事を計画しており、当業務に対する積極性が感じられました。

また、将来の隣地活用時のことも視野に入れるなど、業務に対する理解が深く、積極的な取り組み姿勢があると評価しました。

さらに、新庁舎の中に“柳井の自然”を活用する計画については、柳井地区全体への配慮に思われ、好印象を受けました。

### (2) 「3.業務の実施方針及び手法 (2)実施方針」について

JVとしての業務実施にあたり、諸問題に対する個別ワーキンググループを用いて取りまとめる姿勢、定例会議の頻度も具体的に示されているなど、業務への取り組み姿勢に好感が持てました。

専任コストマネージャーの配置とコストマネジメントの提案については、業務実施段階において、その役割が発揮されるものと期待できます。

建物計画（構造）についてのプランは独創性があり、敷地を有効活用できる案であると判断しました。ただし、建設費を基本計画で想定した程度におさめようとした場合、計画の質の低下が懸念されるため、これを回避するための検討が必要と考えます。

(3) 「4.テーマに対する技術提案 (1)テーマ1：消防力を最大限発揮できる庁舎の設計方針と空間イメージ」について

基本計画を検証した上で見直し、効率的な配置計画であると判断しました。特に、出勤時の隊員の移動に対する縦動線の配置の仕方、各車両の格納位置、セキュリティゾーン設定について、合理性が高いと判断しました。

庁内については、ロビーや食堂等が明るく、見通しも良く好感が持てました。

多機能ロビーの使い方はカフェ的であり、これからの世代のコミュニティーのあり方と個人時間の過ごし方にマッチしているように思います。

一方、再考された出勤車両の動線については、車庫が国道に対面していないこととなり、総合的に判断して評価する声がある一方、不安視する声もあり、選定委員間の判断は分かれませんでした。また、一階に受付が無いことで、防犯等の安全対策面を不安視する意見もありました。これらの諸課題が、今後の協議により解消されることを期待します。

(4) 「4.テーマに対する技術提案 (2)テーマ2：安心安全な庁舎の設計方針の提案」について

提案された多機能広場はフレキシブルで使いやすいものと判断しました。

雨水利用については、飲用にまで考慮されている点が評価できました。

一方、建物の主要構造が鉄骨造であり、地震に対する不安が感じられるため、十分な耐震設計がなされることを期待します。

(5) 「4.テーマに対する技術提案 (3)テーマ3：工期短縮及びコスト縮減を実現するための工法等に関する技術提案」について

「庁舎の構造は基本的に鉄骨造とするが、補強しておくべきところは鉄筋コンクリートで施工する。」などメリハリを効かせた工夫が感じられ、この点は妥当であると思われました。

ただし、鉄骨造の採用によってイニシャルコストが抑えられたとしても、メンテナンスや耐用年数について不安が残るため、費用対効果等のさらなる検証が必要と考えます。

以上、久米・巽設計特定業務共同企業体の提案について、今後、より良い計画となるように柳井地区広域消防組合と十分に協議時間を確保するように委員会として要望します。

柳井地区広域消防本部及び柳井消防署  
新庁舎建設設計者選定委員会  
委員長 中川明子